

(様式1)

## 令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 79	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
<b>要望問題名</b> 相模湾西部における磯焼け対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 相模湾西部の岩礁地帯では、アワビ、サザエ等が刺網、素潜りで漁獲されている。 ○ 岩礁域のアワビ、サザエの水揚げは、沿岸漁業者にとって定置網、シラス船曳網と並び重要な収入源として期待され、当事業団でも種苗の放流を継続的に実施している。 ○ しかし、アワビ、サザエ等の餌となる岩礁に生育するカジメ等が、アイゴなどの食害により消失する現象(磯焼け)が駿河湾や三浦半島で発生し、近年相模湾西部においても磯焼けが進み、アワビ、サザエ等の漁獲の減少となっている。 ○ そこで、アイゴ等の食害による磯焼けを防止するための調査研究を要望します。 (春先は早川港内でアイゴの稚魚の群れが見られ、網による捕獲は可能か)	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。(提案者は記載不要)

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	相模湾試験場、栽培推進部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 <input type="checkbox"/>		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 磯やけ緊急再生支援事業		
<b>対応の内容等</b>	<p>相模湾西湘海域での磯焼け対策として、普及事業の一環で2017年度からスポアバッグによる藻場造成(岩漁協、真鶴町漁協)、2018年度からガンガゼ駆除(小田原市漁協)を実施しています。</p> <p>藻場造成にかかる事前・事後調査から小田原～真鶴海域の藻場の状況を確認していますが、近年は調査海域全体でカジメ場が減少している傾向が見られます。</p> <p>西湘海域での磯焼け原因は台風等の大時化、冬季水温の高温などと共にアイゴによる食害が挙げられますので、2019年度から小田原市漁協刺網部会と協働してアイゴ駆除試験を実施し、アイゴの刺網漁獲特性について調査を行います。また、小田原市漁協青年部会では2019年度から磯焼けの原因生物となるムラサキウニを漁獲し、野菜残渣を利用した蓄養技術を利用して蓄養後、初出荷に成功し、漁業現場における磯焼け原因生物の有効利用についても普及指導員とともに取組を開始しています。</p> <p>今後もウニ類等の駆除による磯焼けからの回復に関する調査研究を継続するとともに、対策に関する情報収集につとめ、有益な情報がありましたら逐次提供してまいります。</p>		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
<b>備考</b>			